

令和6年度神奈川県高等学校総合文化祭  
第63回神奈川県高等学校演劇発表会

県大会速報

# あかいくつ

「あかいくつ」とは？

県大会出場校にいくつかの質問を投げかけ、それをまとめたものです。作品のみどころや各学校の想いがつまっています。ぜひ、目を通してみてください！

上演順	1	上演時間	11月16日(土) 9:30~10:30
学校名	神奈川県立西湘高等学校		
作品名	ショウコ写真		
作者名等	川野 優夏/作		
Q1 県大会出場が決まったのお気持ちは？			
<p>これまで頑張ってきたことが結果として出たのが本当に本当に嬉しくて、地区大会からずっと高揚感に浸っています！</p>			
Q2 この作品を上演しようと思った理由は？			
<p>台本をつくるにあたって、いろんな人が共感できるテーマはなんだろうと考え、「写真にうまく写れない！」と言う部員の体験談をもとに作り始めたことが理由です。</p>			
Q3 作品のみどころは？			
<p>部員一人一人のコンクールや物事に対しての「正解」が違うところに注目していただきたいです。そして、自分と似ている役を見つけたり「ああ、こんな人いるな」と共感していただけたら嬉しいです。</p>			

Q4 スタッフから一言（工夫や苦労など）

リアルな高校生活の中にどうやったら印象的な演出を入れることができるのか部員全員でたくさん話し合いました。ぜひ舞台セット、音響、照明、衣装、小道具など余すことなく見てください！！

Q5 キャストから一言（役作りのポイントなど）

自分たちと同じ高校生を演じるにあたって普段どうやって喋っているか、どんなふうに笑っているか、会話をしていないときは何をしているかなど自分やクラスの子の観察をしました笑。お客さんがその場にいるような気持ちになってもらえるように頑張りたいです！

Q6 部の雰囲気はどんな感じ？

うちの部はほとんど生徒の力だけで活動を行っているのでだらけてしまうことも多いのですが、その分いつもリラックスをして皆んなで協力しながら仲良く劇を作ることができました。私たちの仲の良さがお客さんに伝わるといいなーと思ってます！！

Q7 観てくださる方に一言 PR をどうぞ！

高校生の高校生による高校生のための演劇です。ぜひ、楽しんでみてください！！

上演順	2	上演時間	11月16日(土) 10:45~11:45
学校名	県立神奈川総合高校		
作品名	パノラマランナー2024		
作者名等	作:翻案 古谷泰三 潤色:布藤美玖		
Q1 県大会出場が決まったのお気持ちは？			
<p>今年度は「上位大会へ進むこと」を目標に活動しているので、着実にステップを踏めていることを嬉しく思います。県大会で終わらず次のステージへ進めるように全力を尽くします。</p>			
Q2 この作品を上演しようと思った理由は？			
<p>我々M&amp;Dの顧問である古谷泰三先生は、30年高校演劇に携わり、様々な戯曲を世に送り出してきました。M&amp;Dは普段、生徒創作も数多く上演しています。しかし今回、「古谷先生特有の世界観を、私達で表現してみたい。」という意見が出ました。その後話し合いや投票を経て、最終的に選ばれたのがこの脚本です。</p>			
Q3 作品のみどころは？			
<p>この劇は、主人公が列車で駅を巡るというストーリー上、場面が次々と変化していくのが特徴です。30人を越える部員を総動員し、息つく間もない展開の数々を実現しました。その旅の終着点は一体何なのか、ぜひ目を離さずにご覧ください。</p>			

Q4 スタッフから一言（工夫や苦労など）

M&D では、普段から部員全員が大道具、小道具などの役職につき、それぞれ仕事に取り組んでいます。電車の音や駅メロ、特殊照明、吊り道具など、こだわりを上げればキリがありません。本番中は役者だけでなく、舞監率いる「うらかた一ず」も全力を尽くしますので是非細かいところまで注目してご覧ください！

Q5 キャストから一言（役作りのポイントなど）

今回この脚本を演じる上で、感情の変化の演技を特に考えました。役に対する理解を深め、気持ちがどう動いているのか見えるよう工夫を重ねました！

Q6 部の雰囲気はどんな感じ？

活動中は一人一人が真剣に作品と向き合い、話し合いを重ねながら作品を作っています。休憩時間は和気あいあいとした雰囲気の部活です。

Q7 観てくださる方に一言 PR をどうぞ！

全員が試行錯誤しながら、最高の舞台を作れるよう頑張ってきました。みなさんの心に残る劇になるよう精一杯頑張りますのでぜひご覧ください！

上演順	3	上演時間	11月16日(土) 12:00~13:00
学校名	横浜雙葉高等学校		
作品名	綺羅星の如く		
作者名等	中塚祐唯・高橋和花		
Q1 県大会出場が決まったのお気持ちは？			
<p>多くの皆様に観ていただける機会を得ることができとても嬉しいです。私たち高校2年生にとって県大会の舞台を踏むのは初めてなので、緊張もありますが、精一杯楽しみたいです。</p>			
Q2 この作品を上演しようと思った理由は？			
<p>普段は表に出せない悩みや葛藤と向き合いたい・知っていただきたいという思いから、この作品を高校演劇大会という舞台上で上演することを決めました。</p>			
Q3 作品のみどころは？			
<p>ト書きにとらわれないアドリブシーンを取り入れ、何気ない日常を切り取ったような世界観を目指しました。コミカルなシーンはたくさん笑っていただけると嬉しいです！</p>			

Q4 スタッフから一言（工夫や苦労など）

スタッフ2名で仕事を兼任しているため、大道具の数や移動を最小限にする分、音響や照明での雰囲気づくりにこだわりました。

Q5 キャストから一言（役作りのポイントなど）

リアリティがありつつ舞台映えするような演技に苦戦しました。歩き方や衣装にもこだわったので、是非注目してみてください。

Q6 部の雰囲気はどんな感じ？

部活動以外ではあまり関わりのないメンバーですが、同じ「良い舞台を創りたい」という目標のもと、日々切磋琢磨しています。

Q7 観てくださる方に一言 PR をどうぞ！

部員5名で一から作り上げた作品です。劇中はもちろん、終わったあとの余韻まで楽しんでいただけたらと思います。少人数ながらも頑張っているのので、応援よろしくをお願いします！

上演順	4	上演時間	11月16日(土) 13:45~14:45
学校名	神奈川県立秦野高等学校		
作品名	ハルキゲニアのとげ		
作者名等	向井瞬/作		
Q1 県大会出場が決まったのお気持ちは？			
<p>絶対に県大会行けるぞという気持ちがあった反面、今まで頑張ってきたなと思いました。関東大会にも出場するためにも、もっと沢山練習しようと思いました。</p>			
Q2 この作品を上演しようと思った理由は？			
<p>顧問の先生が書き下ろしてくださいました。先生によると、この脚本は数年間温めてきたものだそうで、力作です！ 一部を除いて当て書きではないのですが、オーディションや部員で話しあったりとみんな自分の役に入り込めたと思います。</p>			
Q3 作品のみどころは？			
<p>序盤に散りばめられた伏線や観たときに感じるちょっとした違和感などが終盤になると一気に回収される所や、古生物のハルキゲニアと1人の女子高生の心情や周りの登場人物らとの関わりを物語に落とし込んでいます。</p>			



Q4 スタッフから一言（工夫や苦労など）

作品の世界観にあった照明にできるように頑張りました。照明がみんなの助けになり、舞台の雰囲気により一体感のあるものにできていたら嬉しいです。

Q5 キャストから一言（役作りのポイントなど）

抽象舞台かつパントマイムが多いので、物の位置などで役者同士で話し合い、共通認識を持っておいたり個人の練習も大事にしました。また全員あて書きというわけではないのですが、各役者はかなり自分の役にはまっていたので役作りや練習はスムーズにできたと思います。

Q6 部の雰囲気はどんな感じ？

かなりアットホームな雰囲気だと思います。上下の隔てなくみんな自分のペースを持っていて過ごしやすい部活です。何より堅苦しいところがなくて素の自分をだせることが1番の長所だと思います。

Q7 観てくださる方に一言 PR をどうぞ！

この脚本は夏休み頃から練習し始めました。ときどき人数が集まらなくて思うように練習できなかったり、抽象舞台への知識が足りなく苦労する面も沢山ありましたが、みんなが納得するまで演出について話し合ったりとみんなで作らあげた舞台です。観にきてくれた方々にもその一体感が伝わってくれたら嬉しいです。

上演順	5	上演時間	11月16日(土) 15:00~16:00
学校名	神奈川県立平塚中等教育学校		
作品名	Standby		
作者名等	ゆーすけ/作		
Q1 県大会出場が決まったのお気持ちは？			
信じられない！！！！！！！！！！			
Q2 この作品を上演しようと思った理由は？			
私達のために愛しの顧問の先生が忙しい中、作ってくださった台本を、私達がやらなければ誰がやるんだ！という気持ちが湧いてきたので上演することを決めました。			
Q3 作品のみどころは？			
演劇をやったことがある人ならきっと心にぐっとくるはずです。P.S.スベったら顧問のせい。ウケたら私達のおかげ。って顧問の先生が言ってました(笑)。			

Q4 スタッフから一言（工夫や苦労など）

舞台の使い方をととても工夫しています。

Q5 キャストから一言（役作りのポイントなど）

役を愛し、役に愛されることを意識して稽古をしてきました。あとは「遊び心」を持ちながら稽古してます。

Q6 部の雰囲気はどんな感じ？

本当にアットホームです。日々顧問への愛が溢れている部活です。

Q7 観てくださる方に一言 PR をどうぞ！

私達の作品は観客の皆さんの笑いで完成します。面白いと思ったらぜひ笑ってください。私達は顧問のモットーである「舞台上で遊ぶ」ことを大切に、楽しみながら精一杯演じます。ぜひ最後までお楽しみください！

上演順	6	上演時間	11月16日(土) 16:15~17:15
学校名	神奈川県立座間総合高等学校		
作品名	夏芙蓉		
作者名等	越智優/作 喜多川聡/潤色		
Q1 県大会出場が決まったのお気持ちは？			
<p>「夏芙蓉」を通じて、私たちの努力が実を結び、地区大会で最優秀賞を獲得できたことに感激しています。一昨年度も、同じ台本で臨みましたが、惜しくも結果は優秀賞、県大会出場出来なかった悔しさを胸に、ようやく県大会出場権を手に入れた瞬間、仲間と共に喜びを分かち合えたことが何よりも嬉しいです。</p>			
Q2 この作品を上演しようと思った理由は？			
<p>「夏芙蓉」を選んだきっかけは、物語の深いテーマとキャラクターの魅力に惹かれたからです。この作品は、友情や成長、そして人生の儚さを描いており、私たちの演技を通じてその感情を観客に伝えたいと感じました。仲間と共に感情を共有し、みんながこの物語を大切に思っているからこそ、選ぶことに決めました。</p>			
Q3 作品のみどころは？			
<p>この作品の見所は、4人の友情と、その4人が現実を知った時の絶望、悲しさ、だと思っています。4人で明るく話している中に潜む違和感からどんどん事実と迫る過程、その時に感じるふとした緊張感。非常に身近で現実感のある世界観に没入して観劇できる作品です。</p>			

Q4 スタッフから一言（工夫や苦労など）

シーンごとの照明や音響その時々にあったものを選ぶのにまず苦労しました。しかし、役者の演技やその雰囲気などに合ったものを作れるよう努力しました。また、舞台も教室をまるまる作るというかなり大掛かりなもので、特に壁と扉を作るのに苦労しました。ぜひ、教室の方にも目を向けてみてください。

Q5 キャストから一言（役作りのポイントなど）

この作品はかなり私達に近い存在で、同じ高校生であるため、最初の高校生という役作りとしては自分で乗ることが出来ました。しかし、その中でもキャラクター一人一人に個性を出すという点が難しいように感じました。

Q6 部の雰囲気はどんな感じ？

明るく個性豊かなメンバー達です。部員の数も少なく、今回の夏芙蓉も5人という少ない人数で乗りました。しかし少ないからこそその少数精鋭で一人一人に向き合いながら日々稽古をしています。

Q7 観てくださる方に一言 PR をどうぞ！

個性豊かなキャストの面々、大道具の自然さ、照明、音響が作り出す雰囲気を楽しみながらご観劇ください。

上演順	7	上演時間	11月16日(土) 17:30~18:30
学校名	清泉女学院高等学校		
作品名	はやくぜんぶおわってしまえ		
作者名等	升味加耀		
Q1 県大会出場が決まったのお気持ちは？			
<p>本当に嬉しいです。一緒に頑張ってきた部員と顧問の先生方、そして引退してなお、私達の大会のために批評をしに来てくださった先輩方に感謝の気持ちでいっぱいです。</p>			
Q2 この作品を上演しようと思った理由は？			
<p>女子校の演劇部には男子がおらず、女子が男役をやることにも賛否両論があります。他校の演劇を拝見する中で、その制約に不自由さを感じることもありましたが、だからこそ私達にしかできない劇をやりたいと強く思うようになり、見つけたのがこの台本でした。なぜか私達にピッタリだと感じ、一目惚れしたのが選んだ理由です。</p>			
Q3 作品のみどころは？			
<p>これは12年前の話で、馴染みのないものも多い一方で、見えてくる問題は今でも共感できるものばかりです。その問題ははっきりと見えているのではなく、日常の中にふとしたきっかけで見えてくるのです。問題がなかったのではなく、気付いてもらえてなかった、それに気付いた時、深く考えさせられるところが見どころです。</p>			

Q4 スタッフから一言（工夫や苦労など）

ソノ役の子が扉を閉めるタイミングで音響を切る場面があったのですが、そこが何回やっても音響の私とタイミングがあわず、音響と照明を最後に合わせる場面では照明担当と息を合わせることに苦労しました。音響を流す場面では、最初から最後にかけて音を大きくしていたので、そこで臨場感を生み出す工夫をしました。

Q5 キャストから一言（役作りのポイントなど）

今回の役を演じるにあたって1番意識して練習したのは、感情を身体で表現することです。声や表情として感情を表現することは今までやってきたことなので、そこまで苦戦することはなかったのですが、身体での表現はなかなか意識して演じていたことがなかったので、自然な身体表現をするのが難しかったです。

Q6 部の雰囲気はどんな感じ？

演劇が大好き過ぎてよく舞台のことでぶつかりますが、4・5年共に舞台に立ってきた仲間なので、演技のことに関しては、絶対大丈夫だと信頼し合っている、謎の雰囲気があります（笑）

Q7 観てくださる方に一言 PR をどうぞ！

私達の舞台が、なにか気づきのきっかけになりましたら、とても嬉しいです！

上演順	8	上演時間	11月17日(日) 9:15~10:15
学校名	カリタス女子高等学校		
作品名	学級文庫		
作者名等	船橋悠菜/作		
Q1 県大会出場が決まったのお気持ちは？			
<p>私たちの経験、思いを全て込めた劇だったので、県大会出場が決まった際には部員一同、嬉しくて仕方がありませんでした。周囲の方々に後押しを受け、カリタス女子演劇部青い鳥、飛び立ちます！</p>			
Q2 この作品を上演しようと思った理由は？			
<p>ただ観ているだけでなく、観ている個人個人の心の中に入り込める、そんな劇を作りたかったため、まだ16年しかない自分の中で感じてきた全てをこの台本に込めました。部活を引退後、再びこの台本を読む時に背中を押せるような台本を目指し、セリフを作りました。</p>			
Q3 作品のみどころは？			
<p>ミステリーとヒューマンドラマ要素のある脚本で、セリフや演出、衣装にわたり伏線を張り巡らせています。探しながら観て頂けると嬉しいです。完全に生徒のみで作った、高校生にしかできない舞台になっています。リアルを突き詰めた人間味の濃いところが最大の魅力です。</p>			



Q4 スタッフから一言（工夫や苦勞など）

セリフに合わせ、どんな照明なら怖さが出るか、どんな音響なら観客を惹き込ませられるかを考え、作りました。

Q5 キャストから一言（役作りのポイントなど）

言葉で表すのは勿論、さらに言葉以外の抽象的なところを突き詰めることで役に対しての理解を深めています。ふとなにかを見た時に、あーこれ、私が今演じてる〇〇好きそうだなと日頃から観察し、いつでも役の子と一緒にいる感覚です。

Q6 部の雰囲気はどんな感じ？

女子校らしく、笑う時にはみんなで大笑いし、悔しい時にはみんなで悔しがり、楽しい時にはみんなで楽しむことのできる部活です。後輩と先輩でしっかり上下関係はありつつ、時にはその関係に囚われずに対話することができます。

Q7 観てくださる方に一言 PR をどうぞ！

全てのセリフに伏線がある、高校生にしかできない作品になっています。自分だったらどうするか？を考えながら観ていただけると嬉しいです！

上演順	9	上演時間	11月17日(日) 10:30~11:30
学校名	白鵬女子高等学校		
作品名	トシドンの放課後		
作者名等	作者：上田美和 潤色：伊藤弘成		
Q1 県大会出場が決まったのお気持ちは？			
<p>シンプルにうれしいです。二年連続の県大会、頑張りたいと思います。</p>			
Q2 この作品を上演しようと思った理由は？			
<p>あかねと清花の人柄に惹かれたからです。</p>			
Q3 作品のみどころは？			
<p>テンポの良さと演技力、ラストシーンに注目してください。</p>			

Q4 スタッフから一言（工夫や苦労など）

インパクトを残せる道具を作れるように頑張りました。

Q5 キャストから一言（役作りのポイントなど）

2 人の不器用ながらも真っすぐな人柄を表現できるように工夫してます。ぜひ注目してください。

Q6 部の雰囲気はどんな感じ？

少人数ながらも、にぎやかです。皆が皆のために協力して活動しています。

Q7 観てくださる方に一言 PR をどうぞ！

テンポの良さに注目してください！

上演順	10	上演時間	11月17日(日) 11:45~12:45
学校名	神奈川県立上溝南高等学校		
作品名	蜚蠊		
作者名等	菊池遥/作		

Q1 県大会出場が決まったのお気持ちは？

地区大会より、広い舞台に立つことができるととても嬉しく思います。もちろん、広い舞台だからこそ地区大会とは演出も変わり、少ない日数でどこまでやりきれるのか不安もありますが、その不安も糧としてそれ以上に、県大会の舞台上で演劇ができることを楽しみながら、上位大会にも私たちの代で挑んでいきたいです。

Q2 この作品を上演しようと思った理由は？

この作品の脚本は私たち上南の演劇部のインストラクターさんに書いて頂きました。例年書いて下さり、私たちのことも理解して頂けてるし、物語としてとても面白味もあります。さまざまな作品の中から部員で相談した結果、今回の作品を上演するという結論に至りました。

Q3 作品のみどころは？

全てのシーンにおいて細部まで考慮し練習してきたので、この劇は全てが見どころとなっております。強いて見どころをあげるとするならば、一通の手紙をきっかけに5匹のゴキブリが乱れていく様は必見です！その他にも目を引くシーンは多数あるので、見逃さず観てください！

Q4 スタッフから一言（工夫や苦労など）

1年生で初めての音響担当となり緊張や不安のある中、舞台の場面に合う演出やBGM、役者を引き立たせるためにはどのようにしたらよいかということを考えてきました。地区大会の本番が終わるまで色んなことがありましたが、何とか乗り越えて、劇を成功させることができました。

Q5 キャストから一言（役作りのポイントなど）

私が演じた役は、何を考えているのか分からないキャラクターでした。そのような役を演じるのは初めてだったので役作りや劇中での動き、話し方には苦労しました。劇が終盤に近づくほど焦りや動揺も見えるようになり、そこが見どころだと思ったので、序盤と終半の変化を演じられるように、練習を重ねてきました。

Q6 部の雰囲気はどんな感じ？

同学年の仲の良さは勿論、他学年であったとしても仲良く気軽に話せるような関係が作れています！そのため、いつも明るく賑やかです。休憩時間にはたくさんお話して、練習の時にはしっかりとやる。そういったメリハリをつけ、練習に励んでいます。

Q7 観てくださる方に一言 PR をどうぞ！

今回の県大会に臨む前から様々なことを考え、精一杯練習してきました。王道の高校演劇ではなく、特殊な世界観の中での物語となっておりますが、60分間という短い時間でも皆様とこの時間を共有できるよう、精一杯頑張ります。どうぞお楽しみください！

上演順	11	上演時間	11月17日(日) 13:30~14:30
学校名	中央大学附属横浜高等学校		
作品名	Unders LOVE		
作者名等	安田桜子/作		
Q1 県大会出場が決まったのお気持ちは？			
<p>わが校初の県大会出場ということで衝撃が走りました。うれしい反面、複雑な気持ちもありますが、頑張ります。</p>			
Q2 この作品を上演しようと思った理由は？			
<p>現代社会において売春行為による問題は、同年代の中でも起こっています。高校演劇の舞台ではいじめなどの社会問題に切り込んだ作品は多くみられますが、売春のようなセンシティブな話題を取り扱うことは少なく感じます。しかし、これは遠いようで身近な話であり、私たちが関心を持つべき話題だと思ったからです。</p>			
Q3 作品のみどころは？			
<p>登場人物はみな本気ですがどこか笑え、重たい話題でありながら自然と舞台に入り込めると思います。また、創作特有の若者言葉や独特の言い回しも見どころです。</p>			

Q4 スタッフから一言（工夫や苦労など）

台本や演出が直前まで変更があったので、音響と照明を合わせることも大変でした。しかし、作品を作り上げることに演者もスタッフも妥協はしたくない、という思いのもと、演劇部全員で意見を出し合い完成させた、とても思い入れの深い作品です。

Q5 キャストから一言（役作りのポイントなど）

今年入ってきた未経験の部員がキャストの半数を占めており、なかなか大変な舞台作りとなりましたが、キャラクター性や雰囲気づくりを重視し、会話のリアルさを追求しました。

Q6 部の雰囲気はどんな感じ？

ファミリーです。いい意味でも悪い意味でもあまりに距離が近くなんでも言い合える仲です。恐らく、普段の部活の雰囲気はどの出場校よりも緩い気がします。楽しむことをモットーに活動しています。

Q7 観てくださる方に一言 PR をどうぞ！

売春という攻めた話題に気を取られがちですが、それ以上に内部の人間関係や登場人物の人間像がこの物語の面白さとなっています。この舞台ではそういった社会問題を背景に愛の形を問う作品になっています。彼らにとっての愛とは何か、そういった点に着目して見て頂けるとより一層楽しめると思います。

上演順	12	上演時間	11月17日(日) 14:45~15:45
学校名	神奈川県立岸根高等学校		
作品名	MKW48		
作者名等	菊本亘孝と岸根高校演劇部/作		
Q1 県大会出場が決まったのお気持ちは？			
<p>この劇をより多くの方に観ていただける機会をいただき、たいへん嬉しく思います。感激とともに驚きや緊張もありますが、今はただ期待と希望に満ち溢れております。よりよいものになるように部員一同命をかけて日々活動を続けてきました。</p>			
Q2 この作品を上演しようと思った理由は？			
<p>将来の進路への不安や、高校生活を送るうえでの悩みなど、高校生が演じることに意味があるこの台本で演じたいと思ったからです。秋大会の台本を選ぶうえで、部員全体でたくさん話し合いました。その中でも、自分たちのやりたいことや想いがつまったこの台本を最終的に選びました。</p>			
Q3 作品のみどころは？			
<p>この作品は部員の人数の多さを活かした劇、となっております。キャスト全員が個性を出して和気藹々な雰囲気がみどころとなっているので、あなたもぜひ、ノリに乗って楽しんでください。</p>			



Q4 スタッフから一言（工夫や苦労など）

アメトーク！のようなひな壇で、誰が観ていても楽しい現場になっています。スタッフも練習を見ていて、つい笑ってしまうところも多々ありました。照明や音響にも工夫を凝らしました。またキャストが多いので、個性強めな衣装にも力を入れて頑張りました。

Q5 キャストから一言（役作りのポイントなど）

18人一役で構成されているため、全員で言うセリフでも一人ひとり、役の性格にあたりアクションをするのに苦労しました。ぜひ！私だけの個性を観てください！！

Q6 部の雰囲気はどんな感じ？

今年は3年生5人・2年生3人に対して1年生が18人という異例の人数になりました。お互いに高めあえる素晴らしい仲間たちです。このメンバーなら真正面からぶつかりあえる、そんな存在です。これからの私たちの活躍に乞うご期待！

Q7 観てくださる方に一言PRをどうぞ！

もしみなさんが過去に戻れたら何を伝えますか？未来から来た私は何を伝えてくれるでしょうか？この劇を観て、想像してみてください。部員一同精一杯協力して創りました。最後までご覧ください。

上演順	13	上演時間	11月17日(日) 16:00~17:00
学校名	逗子開成高等学校		
作品名	七人の部長		
作者名等	越智優/作 袖岡遼/潤色		
Q1 県大会出場が決まったのお気持ちは？			
<p>横須賀三浦地区として開催する最後の地区大会において、優秀賞をいただけたこと、大変光栄に思います。地区の思いを背負って、頑張りたいと思います！</p>			
Q2 この作品を上演しようと思った理由は？			
<p>この作品を中学時代に上演した経験がある部員がいる中、新しい部員を迎えたり、配役を変えたりして、高校演劇の名作と名高い今作品を更にバージョンアップしてみなさんにお届けしようとする作品を選びました！</p>			
Q3 作品のみどころは？			
<p>七人の部長それぞれが、それぞれの思惑をもって、部活動予算会議に出席します。華の高校生活、うまくいかないことだってありますよね。笑って泣ける、そんな青春ストーリーです！</p>			

Q4 スタッフから一言（工夫や苦労など）

この作品は、全体の流れとして有名な映画の要素が取り入れられているのがわかると思います。それに加え、他の作品とのつながりにも気づいていただけると嬉しいです。

Q5 キャストから一言（役作りのポイントなど）

この作品は元々、女役だけで構成されていました。それを今回は、逆にすべて男役に変更して上演するので、その大変さがありました。

Q6 部の雰囲気はどんな感じ？

私たちの学校は男子校です。時には真面目に、時には駄べりながら、作品に向き合っています。学年の垣根を越えて、仲良く、元気に活動しています！！  
笑

Q7 観てくださる方に一言 PR をどうぞ！

自分たちの青春に思いを馳せながら演じます！ご来場いただいた皆様も、皆様自身の青春時代を思いながら、ご覧いただければ幸いです！お待ちしております！